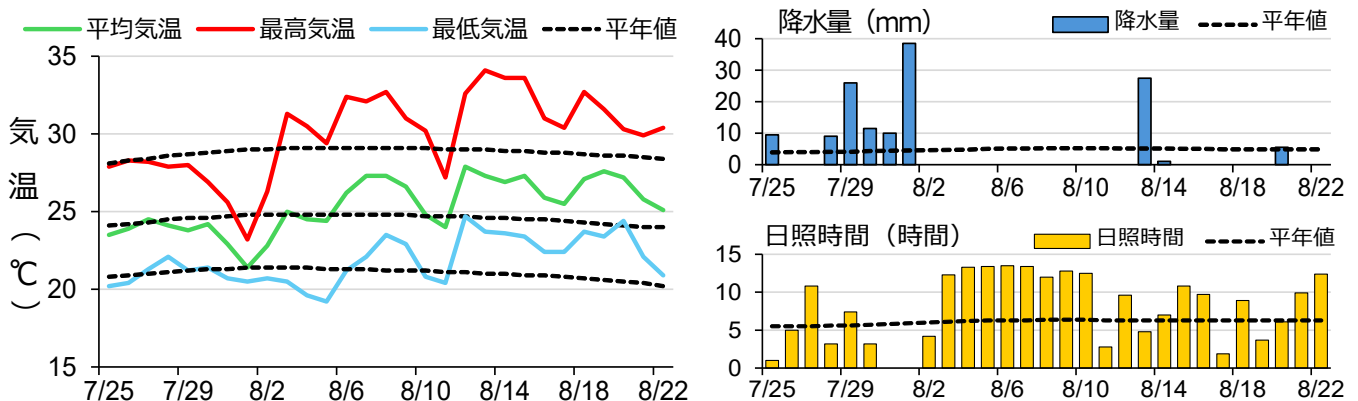


## 出穂早く高温傾向、刈り取り早まる予測！ 刈り取りに向けた準備を早期に行いましょう！

### 1 気象経過と生育状況

#### 【気象経過】 これまでの気象経過（アメダスポイント：能代）



- 気温は7月25日から8月3日にかけて低温が続いたものの、その後は高めで推移しています。また、7月25日以降は降雨や日照不足の日が多くみられましたが、梅雨明け後は回復傾向にあります。なお、東北北部の梅雨明けは、平年より7日遅い8月4日頃となりました。
- 仙台管区气象台が発表した1か月予報（8月20日現在）では、今後は気温が高くなり、降水量および日照時間は、ほぼ平年並となると予想されています。

#### 【生育状況】

- 8月20日現在の管内水稻定点調査ほ（9地点、品種：あきたこまちR）の生育は、穂数は平年並となったものの、1穂着粒数が平年よりも少なくなったため、㎡当たり着粒数は平年より少なくなりました。今後は、確保した籾の充実を図るため適切な水管理に努めましょう（次ページを参考）。

#### ○定点調査結果（8月20日）

|      | 穂数<br>(本/㎡) | 葉数<br>(葉) | 着粒数   |        | 出穂期<br>(月/日) |
|------|-------------|-----------|-------|--------|--------------|
|      |             |           | (粒/穂) | (粒/㎡)  |              |
| 本年   | 437         | 13.1      | 71.3  | 31,568 | 7/27         |
| 平年   | 432         | 13.0      | 78.4  | 33,564 | 8/1          |
| 前年   | 395         | 13.1      | 81.5  | 32,199 | 7/29         |
| 平年比較 | 101%        | +0.1      | 91%   | 94%    | -5日          |
| 前年比較 | 111%        | ±0.0      | 88%   | 98%    | -2日          |

※平年は過去10カ年の平均値

- なお、管内の出穂期は7月29日（平年差-2日）でした。出穂の早まりと今後の高温傾向により、成熟期が早まる見込みです。出穂が早かったほ場では、すでに籾の黄化が進んでいるため、刈り遅れによる品質低下を招かないよう、早めに収穫体制を整えましょう。

### 2 主要病害虫の防除対策

#### 【斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ）】

- ノビエ等の水田内雑草が多いほ場を中心に、斑点米カメムシ類の発生量が多くなっ

ていることから、病虫害防除所から7月28日に注意報、8月21日には防除対策情報が発表されました。

- 斑点米カメムシ類は登熟期前半に玄米の頂部を加害し、登熟期後半は割れ粳の増加に伴い、側部を加害します。そのため、今後は2回目の防除が重要となります。出穂期24日後頃に、畦畔を含めたほ場全体にエクシード剤またはキラップ剤を必ず散布してください。
- 近隣に水稻以外の作物（野菜等）がある場合や養蜂業者がいる場合は、薬剤散布前に情報交換を密にし、散布作業を実施してください。
- 畦畔・雑草地等の除草は、水稻の収穫2週間前以降に行ってください。

### 3 登熟の向上を図る水管理

- 登熟の向上を図るため、出穂30日後までは間断かん水を実施し、土壌水分を保持しながら稲体の活力を維持することが重要です。
- 最高気温が30℃以上になる日は、用水を確保できる地域ではかけ流しかん水、それ以外の地域では飽水管理を行い、高温による根の機能減退を防止します。
- フェーン現象等で乾燥した風が強く吹く日は、湛水状態を保つことで、蒸散による稲体の消耗を軽減します。
- 早期に落水すると、根の機能が低下し登熟が妨げられ、収量、品質、食味が低下する場合があります。落水時期は、出穂30日後頃を目安としますが、登熟の進行やほ場の作業性等を考慮してください。
- ★カドミウム含有米の発生が懸念される地域で「あきたこまちR」以外を作付けした場合は、出穂3週間後まで湛水管理を厳守し、カドミウムの吸収を抑制します。

### 4 刈取適期の判断

- 積算気温を参考に、各ほ場の粳の黄化程度を必ず確認し、刈り遅れによる品質低下を防止しましょう。
- ほ場の観察と並行して、収穫機や乾燥機のメンテナンスも早期に行い、スムーズに収穫作業に入れるようにしましょう。

| 出穂日   | 積算気温到達日 |       |       |       |       |
|-------|---------|-------|-------|-------|-------|
|       | 950℃    | 1000℃ | 1050℃ | 1100℃ | 1150℃ |
| 7月25日 | 9月2日    | 9月4日  | 9月6日  | 9月8日  | 9月11日 |
| 7月29日 | 9月6日    | 9月8日  | 9月11日 | 9月13日 | 9月16日 |
| 8月2日  | 9月9日    | 9月11日 | 9月14日 | 9月16日 | 9月19日 |
| 8月5日  | 9月14日   | 9月16日 | 9月19日 | 9月21日 | 9月24日 |
| 8月8日  | 9月18日   | 9月20日 | 9月23日 | 9月26日 | 9月29日 |
| 8月10日 | 9月20日   | 9月23日 | 9月26日 | 9月29日 | 10月2日 |

※8月23日以降のデータは平年値を使用。管内の出穂盛期は7月29日。

#### 【刈取適期の判定基準】

※刈取適期は品種や栽培方法によって異なります。

#### ① 粳の熟色

葉や穂首が緑色であっても粳の黄化程度が90%（黄色＋黄白色の粳数の割合）の頃  
※熟度の進展は緑（青）色→黄色→黄白色と進む

#### ② 出穂後の積算気温（出穂期翌日から日平均気温を積算した値。上表参考）

早生種：950～1,050℃（1,100℃を超えると胴割粒増加）

中晩生種：1,050～1,150℃（1,200℃を超えると胴割粒増加）

**気温の高い日が続きます。熱中症等に十分注意して作業を行いましょう！**

**「ツキノワグマ出没に関する警報」が発令！！農作業中のクマ被害に十分な警戒を！！**

不明な点がありましたら、山本地域振興局農林部農業振興普及課（Tel.52-1241）までご連絡ください。